

# 岡光一浩教授 略年譜

昭和18年 1月 山口県柳井市に生まれる

## 学 歴

昭和36年 3月 山口県立熊毛南高校卒業  
昭和37年 4月 山口大学文理学部文学科入学  
昭和41年 3月 同上 ドイツ文学専攻卒業 (文学士)  
昭和41年 4月 広島大学大学院文学研究科修士課程独語学独文学専攻入学  
昭和43年 3月 同上 修了 (文学修士)

## 主な教育業績 (職歴)

昭和43年 4月 北海道教育大学助手 (岩見沢校)  
昭和46年 4月 同上 講師  
昭和47年 4月 北海道大学文学部講師  
昭和51年 4月 山口大学文理学部講師  
昭和52年 4月 同上 助教授  
昭和53年 6月 山口大学人文学部助教授 (改組のため)  
昭和54年 7月 西ドイツ・チェコ・オーストリア私費出張 (8月まで)  
昭和58年 9月 ミュンヘン大学 文部省在外研究員 (10月末日まで)  
昭和60年 4月 山口大学大学院人文科学研究科言語文化専攻担当  
(現在に至る)  
昭和60年 5月 山口大学人文学部教授 (現在に至る)  
平成 3年10月 ウィーン大学 文部省在外研究員 (平成 4年 8月末日まで)  
平成11年 4月 山口大学評議員 (平成12年 3月まで)  
平成14年 4月 山口大学人文学部言語文化学科長 (平成16年 3月まで)  
平成16年 4月 山口大学人文学部学部長補佐 (平成17年 3月まで)  
平成18年 3月 山口大学定年退職 (予定)  
上記国内 3大学において、委員会の委員長や委員を多数歴任

### 主な非常勤講師（括弧内は講義名）

千葉大学文学部（「小説論」集中）、山口県立大学国際文化学部（「比較文学」  
「ヨーロッパの文学」）、駒澤大学北海道教養部、北海学園大学、北海道大学  
医学部附属臨床検査技師学校、九州工業大学、八幡大学、山口大学教養部、  
九州産業大学、九州共立大学、放送大学（以上「ドイツ語」）

### 主な所属学会・研究会

日本独文学会、日本独文学会西日本支部、日本独文学会中四国支部、オース  
トリア文学会、山口大学独仏文学研究会（以上、継続中）。コーヒー文化学  
会、日本ゲーテ協会、ノルデン刊行会（以上、前歴）

### 主な研究業績（著書論文、学術論文、翻訳）

#### トーマス・マンのイタリア体験（1）

1968.12 北海道教育大学紀要（第一部A）第19巻第2号

#### トーマス・マンのイタリア体験（2）

1969.7 北海道教育大学紀要（第一部A）第20巻第1号

#### トーマス・マンのゲーテ像

1971.2 北海道教育大学紀要（第一部A）第21巻第2号

#### トーマス・マンのゲーテとの“*unio mystica*”

1971.8 ノルデン（北海道大学）第8号

#### 市民文化を求めて ——若きトーマス・マンの芸術家意識——

1973.3 羽白教授退官記念論文集（広島大学）

#### 死から再生へ ——トーマス・マンの『ヴェニスに死す』論——

1973.7 ノルデン（北海道大学）第10号

#### 1914年の精神 ——トーマス・マンの『戦時の思想』を中心にして——

1975.9 ノルデン（北海道大学）第12号

#### タジオの身振り ——トーマス・マンの『ヴェニスに死す』終局の考察——

1976.11 山口大学文学会志 第27号

#### 死の姿 ——理論的論究と文学的形姿——

1979.1 山口大学独仏文学 第1号

#### ノルベルト・エラーズ:息子たちの処罰

——カフカの小説『判決』『火夫』『変身』研究——（翻訳）

1980.1 山口大学独仏文学 第2号

- ホーフマンスタールの『痴人と死』 ——世紀末の若者たち(1)——  
 1981.11 山口大学文学会志 第32号
- トーマス・マン自伝・二篇(翻訳)  
 1982.4 山口大学独仏文学 第4号
- トーマス・マンの『トーニオ・クレゲル』 ——世紀末の若者たち(2)——  
 1983.7 山口大学独仏文学 第5号
- シュニッツラーの『アナトール』 ——世紀末の若者たち(3)——  
 1983.10 ドイツ文学論集(日本独文学会中四国支部) 第16号
- ドイツ戦後文学とペーター・ハントケ  
 ——小説『左ききの女』(1976)をめぐる——  
 1984.7 山口大学独仏文学 第6号
- 世紀転換期のミュンヘン  
 ——トーマス・マンの小説『神の剣』(1902)をめぐる——  
 1985.12 山口大学文学会志 第36号
- 世紀転換期のミュンヘン(続)  
 ——トーマス・マンの小説『神の剣』(1902)をめぐる——  
 1986.12 山口大学文学会志 第37号
- H. ヘフル/J. ライマン: 私は名ばかりの王にはなりたくない(翻訳)  
 1987.7 山口大学独仏文学 第9号
- 世紀転換期のミュンヘンに現れたサヴォナローラ  
 ——トーマス・マンの小説『神の剣』(1902)をめぐる——  
 1988.8 山口大学独仏文学 第10号
- 世紀転換期のミュンヘン(続々)  
 ——トーマス・マンの小説『神の剣』(1902)をめぐる——  
 1989.8 山口大学独仏文学 第11号
- L. アンドリアンと小説『認識の園』  
 1993.8 山口大学独仏文学 第15号
- “Sterben”の小説技法について  
 ——「20世紀小説」の先駆者としてのA. シュニッツラー——  
 1993.10 ドイツ文学論集(日本独文学会中四国支部) 第26号
- レオポルト・アンドリアン——『チャンドス卿の手紙に関連して』——  
 1994.3 オーストリア文学 第10号

研究余滴 シュニッツラーの“Sterben”について

——世紀末のウィーンを読む——

1994.8 山口大学独仏文学 第16号

“Sterben”の小説技法について

——「20世紀小説」の先駆者としてのA.シュニッツラー(Ⅱ)——

1994.11 西日本ドイツ文学(日本独文学会西日本支部)第6号

ウィーン・カフェの歴史——一杯のコーヒーから薫り立つ文化——

1994.12 コーヒー文化研究(日本コーヒー文化学会)第1号

ウィーン世紀末の魅力——文学、建築、美術——

1995.7 山口大学独仏文学 第17号

リチャード・ウィンストン：若いトーマス・マン

——ある芸術家の成り立ち1875-1911——(翻訳)

1996.7 山口大学独仏文学 第18号

若いトーマス・マン——小説と小説家のあいだ(1)——

1996.12 山口大学文学会志 第47巻

若いトーマス・マン——小説と小説家のあいだ(2)——

1997.7 山口大学独仏文学 第19号

若いトーマス・マン——小説と小説家のあいだ(3)——

1997.12 山口大学文学会志 第48巻

ナルシスの夢——ウィーン世紀末文学の典型としての『認識の園』——

1998.6 『中欧 その変奏』所収(229~251頁)鳥影社

若いトーマス・マン——小説と小説家のあいだ(4)——

1998.7 山口大学独仏文学 第20号

若いトーマス・マン——小説と小説家のあいだ(5)——

1998.12 山口大学文学会志 第49巻

若いトーマス・マン——小説と小説家のあいだ(6)——

1999.7 山口大学独仏文学 第21号

若いトーマス・マン——小説と小説家のあいだ(7)——

2001.2 山口大学独仏文学 第22号

若いトーマス・マン——小説と小説家のあいだ(8)——

2001.2 山口大学文学会志 第51巻

若いトーマス・マン——小説と小説家のあいだ(9)——

2001.12 山口大学独仏文学 第23号

- エレン・オレスチェルネ——ある生の物語——（翻訳）  
 2002.12 山口大学独仏文学 第24号
- 若いトーマス・マン——小説と小説家のあいだ(10)——  
 2003.2 山口大学文学会志 第53巻
- 若いトーマス・マン——小説と小説家のあいだ(11)——  
 2003.12 山口大学独仏文学 第25号
- 若いトーマス・マン——小説と小説家のあいだ(12)——  
 2005.2 山口大学独仏文学 第26号
- 若いトーマス・マン——小説と小説家のあいだ(13)——  
 2005.3 山口大学文学会志 第55巻
- 若いトーマス・マン——小説と小説家のあいだ(14)——  
 2005.12 山口大学独仏文学 第27号

その他の業績（報告、教育・研究エッセイ、執筆協力、学会口頭発表、講演、  
 社会貢献講座等）

- 死とその形象 ——初期トーマス・マンの場合——（口頭発表）  
 1977.11 日本独文学会西日本支部第29回研究発表会
- 文学と私（教育・研究エッセイ）  
 1982.4 山口大学キャンパス新聞
- 第二外国語のすすめ ——ドイツ語——（教育・研究エッセイ）  
 1984.4 山口大学新聞229号
- 外国文学と私（教育・研究エッセイ）  
 1986.7 中国新聞（でるた）
- ウィーン幻想（教育・研究エッセイ）  
 1992.12 鴻文会会報（山口大学人文学部同窓会会報）
- ホーフマンスタールとアンドリアン  
 ——チャンドスの手紙は作者自身の内的体験か——（口頭発表）  
 1993.11 日本独文学会西日本支部第45回研究発表会
- プログレシブ独和辞典（執筆協力）  
 1994.1 小学館
- ウィーン世紀末の文学と芸術（講演）  
 1994.7 山口大学人文学部公開講演（山口大学）

ウィーン世紀末の文化

——文学、美術、建築——(美術講演)

1995.3 ウィーンのジャポニスム展(山口県立美術館)

文学における留学の思想——鴎外、そして漱石、荷風——(報告)

2001.4 山口大学人文学部異文化交流施設ニューズレター  
第2号

異文化の中で(社会貢献講座)

2002.12(3回) 徳山サテライトカレッジ(徳山駅ビル)

ウィーンのみつこ(報告)

2003.4 山口大学人文学部異文化交流施設ニューズレター  
第4号

グリム童話の伝えるメッセージ(社会貢献講座)

2004.3(1回) 出前総合大学(山口県立山口中央高校)

グリム童話の伝えるメッセージ(社会貢献講座)

2004.7(5回) 周南オープンカレッジ(徳山生涯学習センター)

グリム童話『赤ずきん』——“文学を読む”とはなにか——(社会貢献講座)

2005.3(1回) 山口県立下松高校

「文学部系の勉強をして得なことがありますか」

——ある出前講義での質問——(教育・研究エッセイ)

2005.3 山口大学人文学部生涯学習委員会報告・資料集

大人が読むグリム(社会貢献講座)

2005.5(4回) やまぐちサタデー・カレッジ(山口大学)

クリムト『接吻』の周辺(社会貢献講座)

2005.7(2回) 周南サテライトカレッジ(徳山駅ビル)